

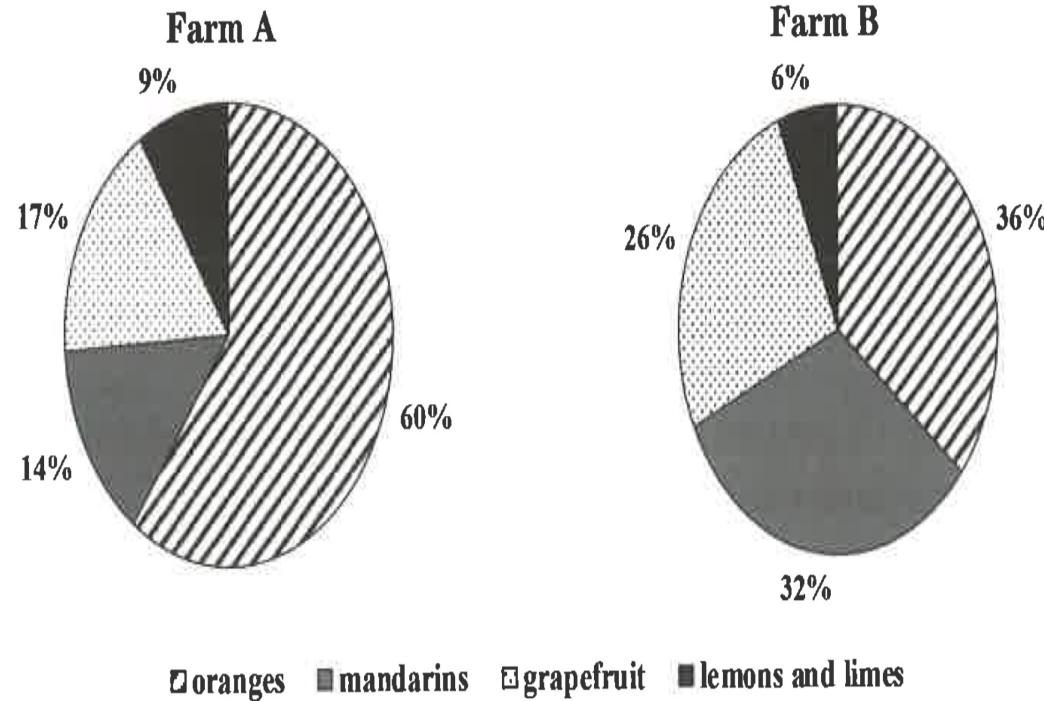
IELTS Writing Task 1 Pie chart (補助教材)



⑦「構成」を表す表現をマスター

Task 1では「～が…%を占める」のように「構成」を描写する機会が多くあります。ここでは次のPie chartを用いてさまざまな表現を身につけていきましょう。

The charts below show the percentage of citrus fruits produced on two different farms in Australia.



「～%を占める」はこう書こう！

Aが～% [大部分, 4分の1など]を占めている、とする場合は次の表現を使います。

▶ 主語 + account for [comprise / make up / constitute] +
～% [分数 / half / quarter / the largest share / the majority など] (of ~)

例 1) On Farm A, oranges account for a sizeable proportion of its total output* at 60%.

(A農場では、オレンジは全生産量の大部分である60%を占めている)

例 2) On Farm B, oranges and mandarins comprise approximately one third of the entire output at 36% and 32% respectively.

(B農場では、オレンジとマンダリンはおよそ3分の1を占めており、それぞれ36%, 32%となっている)

⑧「比較・対比」表現をマスター その1

問題文には **make comparisons where relevant** (関連性のある場合は比較しない) とあります。つまり、各項目を個別に単に増えた、減ったと描写するのではなく、「比較」「対比」しながら書くことが不可欠です。ここでは先ほどの Pie chart をもとに、比較と対象表現をマスターしていきましょう。

1. 「対比」はこれで表そう！

「Aは～だが、一方でBとCは…である」のように、項目を「対比」させる機会が非常に多くあります。この場合は次の語を使うと効果的です。

表現例	
接続詞	while / whereas* / whilst (一方では～) *通常文頭でなく文中で使います。
動詞	contrast (sharply) with (~と対照的である) show [make] a stark [sharp] contrast with (~と極めて対照的である)
副詞 形容詞	by [in] contrast (対照的に) / on the other hand (一方では) / conversely (反対に) / similar / similarly / likewise (同様に) / in a similar [the same] way (同様に)
前置詞	unlike (~とは異なり) / as opposed to (~とは正反対で) (when) compared to / in comparison with (~と比較すると)

それではこれらをいくつか用いて、pie chart を描写していきます。

例1) Oranges take the largest share on Farm A **whereas** Farm B divides*

its citrus types more equally.

* divide ~ equally : ~を均等に分ける

(A農場ではオレンジが大半を占めている一方、B農場では、もっと均等な割合に分かれている)

例2) Mandarins are the second major source of crop on Farm B, making up nearly one-third of the total output. **By contrast**, this fruit only represents less than half that figure* on Farm A.

* that figure は前文の nearly one third of the total output を指す。

(マンダリンはB農場で2番目の主力作物であり、全体の3分の1近くを占めている。それは対照的に、A農場ではその半分未満しか作られていない)

例 3) Lemons and limes account for by far the smallest amount on Farm B, at only 6%. **Similarly**, a relatively low volume is shown on Farm B, comprising less than a tenth of the overall yield.

(B農場では、レモンとライムは、6%とはるかに低い数値を示している。同様にA農場では、この2つのフルーツは比較的割合が低く、全体生産量の10%未満となっている)

⑨「比較・対比」表現をマスター その2

ここでは「比較級」と「最上級」を取り上げ、精度をアップさせる4つの表現を紹介します（ここからの例文はグラフとの関連性はありません）。

1. 比較級を強調する “significantly, substantially, considerably”

比較級の強調に使われるのは *much* が一般的ですが、この3語を使うとエッセイ向きでフォーマルなトーンに変わります。

例) The figure was **substantially lower** than the average price.

（その数は平均価格よりもはるかに低かった）

2. 「最も～ない」を表す “least”

特に次のように《**the least + 形容詞 + 名詞**》の形で運用します。

例 1) Cycling is **the least popular** mode of transport among young people in City A.

(A市では、サイクリングは若者の間で、最も人気がない交通手段である)

例 2) Comedy was **the least watched** TV genre out of seven categories in 2007.

(2007年ではコメディは7つのカテゴリーで最も観られていないテレビジャンルであった)

3. 「最も～に使われている」を表す “the most ~ used”

この表現は～の箇所に *commonly, widely, frequently* のいずれかを入れて表す最上級の用法です。次のように非常に幅広く運用が可能です。

例 1) **The most frequently used** medium is the internet, followed by television and radio.

（最も頻繁に使われている媒体はインターネットで、テレビとラジオがそれに続く）

⑩「時間」表現をマスター

年代が示されている場合、「～年間の間」や「…から～まで」のように特定の期間や時間を表すことが重要です。ここでは幅広い表現方法をマスターしていきましょう。

1. 「～からそれ以降」を表す “from ~ onward(s)”

「～年以降は減少した」のように、特定の日時からその状態が続く場合に使います。

例) UK's unemployment rate began to decline from 2013 onwards. (2013年以降)

2. 「～年刻みに」を表す “at ~ intervals”

年代は5年や10年置きで表記されていることがよくあるので、活用できる表現です。特にイントロで役立つ表現で、～年の箇所は five-year のようにハイフンを使います。

例) The line graph compares the population levels of five different countries at ten-year intervals between 1980 and 2050. (1980年から2050年まで10年刻みで)

例 2) The bus was the most widely used mode of transport in Sydney until 1998.

(1998年まで、バスはシドニーで最も幅広く使われている交通手段であった)

4. 「最も訪れる人が多い～」を表す “the most visited ~”

Task 1 では観光客数の推移を表すグラフがよく出題されます。次の例文のように country, city, attraction などの場所を表す名詞を修飾します。

例 1) Clearly, Paris is the most visited city throughout the years shown.

(明らかに、パリは表に書かれている年代で最も訪れた人が多かった都市である)

例 2) National Park was the third-most visited attraction with over the 4 million mark in 2009.

(国立公園は、2009年400万人を上回り、3番目に観光客が訪れた場所であった)

3. 「特定の期間」を表す “period と span”

特定の期間を表す際に有効です。まず period は次のような用法でよく使われます。

- over [during] the period from 1997 to 2019 (1997年から2019年の間)
- during the 30-year period (30年間: 〈数字+ハイフン+単数の名詞〉を付ける)
- see a period of growth [decline] (成長期 [衰退期] を経る)

次に span は特に over と相性がよく次のように運用します。

- over a span of ten years = over the ten-year span (10年間で)

4. 「その後の、次の」を表す following と subsequent

例えば「その後の5年間は～」や「大幅な減少の後」のように次に起こる出来事や期間を表す際の必須表現です。

- for [over] the following [subsequent] two decades (その後の20年間は)
- following a sharp rise in demand (需要が急増した後)
 - ▶ この2つ目の following は前置詞用法で、subsequent は形容詞用法しかないので置き換えることはできません。また、subsequent は subsequently (その後は) のように副詞で使うことができます。

11 「転換」を表す表現をマスター

ここで取り上げる表現は「内容の転換」を表す際に非常に重要です。これは3章で紹介した Signposting の項目でも一部一覧で紹介しています。特に運用する機会が多い表現は次の8つです。

1. Focusing on ~ (～に焦点を当ててみると)
2. Moving on to ~ (～の話題に移ると)
3. Examining ~ (～を詳しく見てみると)
4. Turning to ~ (～に目を向けてみると)
5. Regarding / With regard to ~ / As far as ~ is concerned (～に関しては)
6. The first point to note is (that) ~ (最初に触れるべき点は～)
7. Another point to note is (that) ~ (他に触れるべき点は～)
8. One final point to note is (that) ~ (最後に触れるべき点として = Finally)

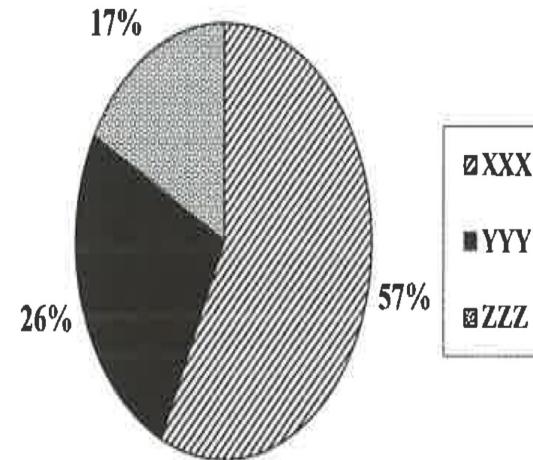
これらは同じパラグラフ内で描写する側面が変わる場合、あるいは各パラグラフの最初に使われます。次の3つのボディパラグラフを示したエッセイの一部で、転換の流れをご覧ください（例のため簡略化してあります）。

Focusing first on the years from 1970 to the present, it is clear that _____.
Regarding the countries where figures fell, _____.
Turning next to projections, significant sales growth is expected in Canada and the UK. _____.
One final point to note is _____.

このように特にパラグラフの最初に使うことで「このパラグラフは～について書きますよ」といった形で読み手に情報を伝えることができます。また、1～4の表現は上記のように **first** や **next** と一緒に使われ、この後に登場するマップや Task 2 でも使える便利な表現です。

◆ 攻略ポイント2 > 「比較不足」に注意！

スコアUPためには「比較の精度が鍵を握る」とお伝えしましたが、ここで注意すべき点は、「比較が浅くならない」ことです。次の円グラフと例文をご覧ください。



[△] XXX accounts for 57% of the total, whereas ZZZ makes up 17%.

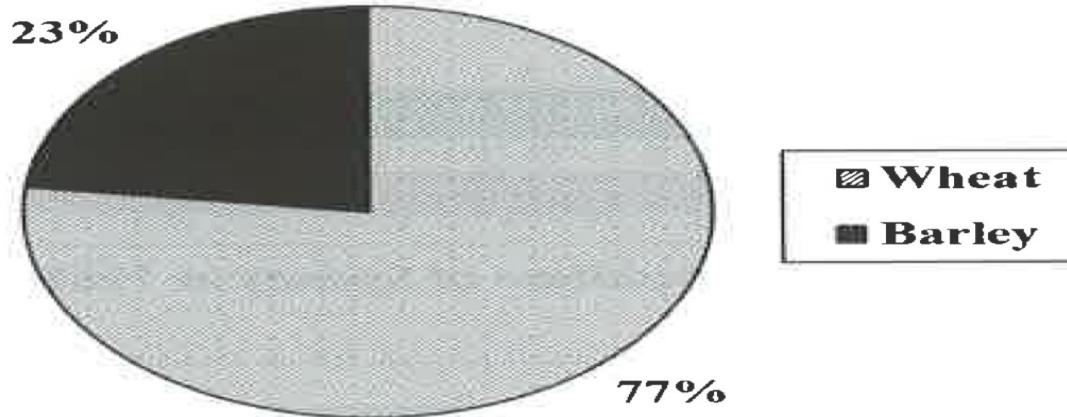
⇒これは **whereas** を使っているだけで、「**数値の比較**」が不十分です。ここは次のように比較級を使うと文が改善されます。

[○] XXX accounts for 57% of the total, whereas ZZZ makes up **far less than one-third that figure**.

(その数の3分の1よりもはるかに低い)

(2) Pie chart

The chart below shows the proportion of products produced on one farm.



◆ ①は動詞、②は割合を示す表現が入ります (1 語 or 複数語)。また 77% と 23% は使わずに書いてください。

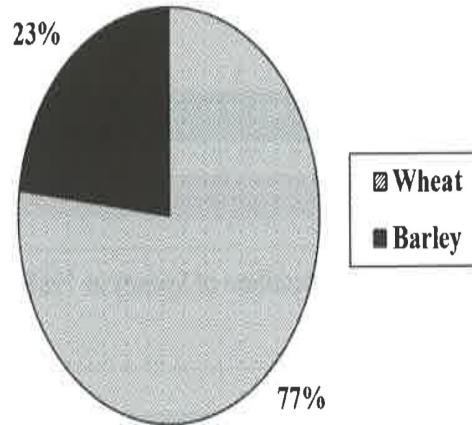
ア. Wheat ① [] ② [] of the total output.

イ. Barley ① [] ② [] of the total output.

ウ. The proportion of wheat is [] barley. ➤倍数表現を用いて

(2) Pie chart

The chart below shows the proportion of products produced on one farm.



◆①は動詞、②は割合を示す表現が入ります (1語 or 複数語)。また 77% と 23% は使わずに書いてください。

ア. Wheat ① [] ② [] of the total output.

イ. Barley ① [] ② [] of the total output.

ウ. The proportion of wheat is [] barley. ➤倍数表現を用いて

(2) Pie chart

ア. ① accounts for [makes up / comprises / constitutes]

② (a) the vast majority

(b) over [more than] three quarters [three fourths]

➤(a) は the majority だけでも構いませんが, **vast** を付ける方がより詳細に表現できます。

➤(b) の three quarters = three fourths のスムーズな言い換えは必須スキルです。

イ. ① accounts for [makes up / comprises / constitutes]

② slightly under [nearly] a quarter

➤quarter を用いて 23% を表現した例です。

ウ. (a) well over three times higher than that of

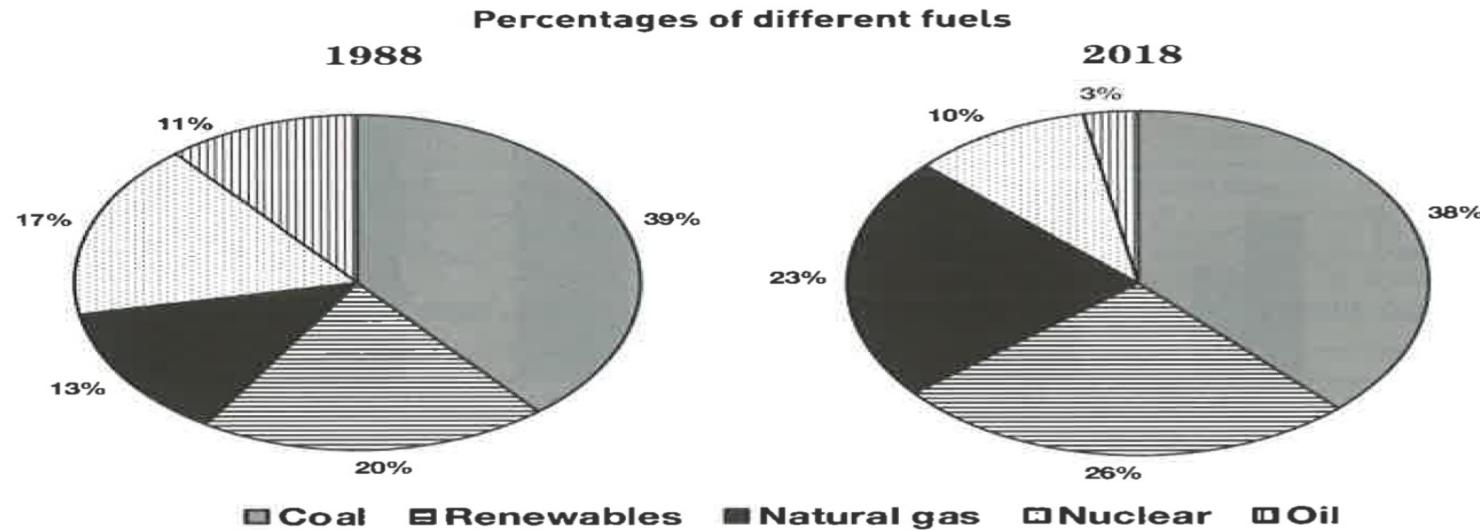
(b) more than triple the figure for

➤77% と 23% との対比で、77% は 23% の約 3.4 倍です。よって、(a) のように well (はるかに) を付けると表現の幅が広がります。また、(b) は形容詞の triple を用いた書き方です。

Q. 各グラフのイントロダクション（設問文の言い換え+ overview）を書いてください。

(1) Pie chart

The charts below show the proportion of different fuels used for electricity generation in the world in both 1988 and 2018.



【ワンポイント・ティップ】➡ overview は共通する点と、異なる点に分け、while や whereas など対比を表す接続詞を用いると書きやすくなります。

解説・解答例

下線部①が設問文の言い換え、下線部②が overview

(1) この問題は数値の変化が見られる「変化型」のグラフです。まずは「相違点」と「共通点」を先に見つけることが大切です。30年間で Coal「石炭」は1%しか違いがありませんが、その他の資源は6%~10%の変化が見られますね。よってこの2つを対比して書けばよいので次のように書くことができます。

① The pie charts illustrate changes in the proportion of energy sources that were used to generate electricity worldwide in 1988 and 2018.

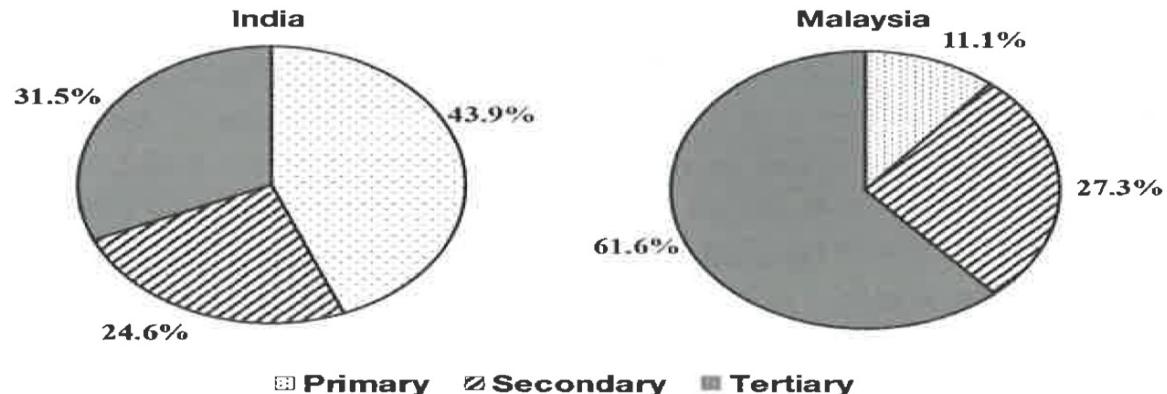
② Overall, coal was the main fuel source in both years, while other sources saw variations in their share over the thirty-year period.

□ see variations in ~ (~において変化が起こる)

②では while が対比で使われています。whereas 同様に非常に重宝するので、対照的な特徴がカテゴリーごとにある場合は使うようにしましょう。

(1) Pie chart

The graph below shows the proportion of employment in India and Malaysia.



セミエッセイにチャレンジ！

In India, the primary sector takes the largest ~~s~~ [s] of employment with 43.9%, whereas in Malaysia, it makes up around a quarter of ~~i~~ [i] [] - the smallest proportion of the three. An entirely ~~w~~ [o] [] trend can be seen in the tertiary sector: slightly lower than one third of the total workers is in this category in India, while nearly ~~e~~ [e] that number is shown to be employed there in Malaysia, ~~t~~ [c] a substantially larger share than the other two sectors. One final point to note is in regards to the secondary sector: in both nations, it makes up around a ~~o~~ [] of the entire workforce.

(1) Pie chart

- ア. **share** ➤ take the largest share of ~ (～の最も多くを占める) は暗記しておこう。
- イ. **that figure [number]** ➤ 前に出てき 43.9% を指す。
- ウ. **opposite** ➤ 対義語の a similar trend (よく似た傾向) も要チェック！
- エ. **twice** ➤ この個所の that number は India の 31.5% を指す。
- オ. **comprising [constituting]** ➤ and が省略された分詞構文の用法。
- カ. **quarter** ➤ それぞれ India の 24.6% と Malaysia の 27.3% を指す。

[エッセイ訳]

インドでは、第一次産業が 43.9% と最大の雇用割合を占めていますが、マレーシアでは、その数の約 4 分の 1 で、これは 3 つの産業の中で最小です。第三次産業では全く逆の傾向が見られます。インドでは全労働者の 3 分の 1 弱がこの産業に従事していますが、マレーシアではこの 2 倍近く人が雇用されており、他の 2 つの産業よりもかなり大きな数を占めています。最後に注目すべき点は、第二次産業に関してです。両国では、この産業が全労働者の約 4 分の 1 を占めています。

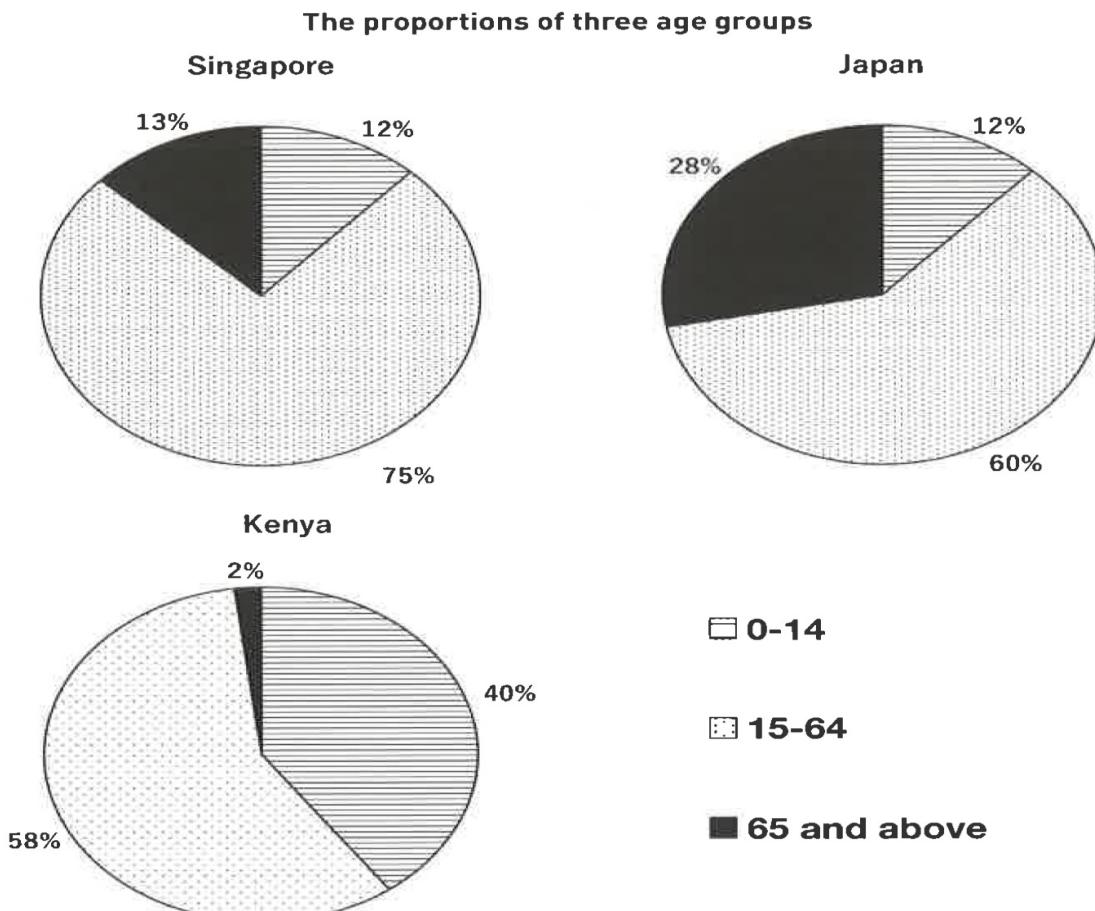
(1) Pie chart 難易度 ★★★☆☆

【制限時間 22 分】

The charts below show proportions of age categories of three different countries in 2019.

Summarise the information by selecting and reporting the main features, and make comparisons where relevant.

Write at least 150 words.



ワンポイント・ティップ

このような3つ以上の円グラフの場合、優先事項は「カテゴリーごとに焦点を当てること」です。つまり、「0-14歳」「15-64歳」「65歳以上」のそれぞれの区分为3か国を比較することです。そして比較する際は「共通点」と「相違点」に分類することも大切です。

8.0 以上に UP するための Model essay

* 太字は重要 Cohesive devices (結束語)

The three pie charts illustrate the percentage breakdowns of three age categories within three different countries in 2019, namely Singapore, Japan and Kenya. **Overall**, the majority of the population of all three is shown to be young to middle-aged, **whereas** the proportion of younger and older age categories varies significantly from country to country.

It is abundantly clear that the working population accounted for the largest part of the total inhabitants in all three countries. Singapore's figure for this age bracket is three-quarters of the population, which is substantially higher than that of Japan and Kenya, at 60% and 58% respectively.

Conversely, the percentage of senior citizens is clearly the smallest overall, with Kenya's fraction of this age group shown to be just 2% of its entire population, followed by Singapore with 13%. Japan's figures, however, stand out in stark contrast with its elderly people constituting over a quarter of the population, at 28%.

One final point to note is considerable variations seen in the youth population aged 0-14. Kenya's share for this age group is 40%, which is triple the amount for Singapore and Japan, at 12%. (188 words)

⌚ スコア UP 重要語彙をチェック !

- breakdown** (内訳) **namely** (つまり 〈具体例の列挙に使う〉)
- it is abundantly clear that** ~ (～ということは極めて明らかである)
- inhabitant** (住民) **conversely** (それとは反対に)
- fraction** (数値 〈= figure / number〉) **stand out** (目立つ)
- in stark contrast with** ~ (～と著しく対照的で)
- one final point to note** is ~ (最後に述べておくべき点は～である)

【エッセイ訳】

3つの円グラフは、2019年の3つの異なる国、シンガポール、日本、ケニアの3つの年齢カテゴリーの割合の内訳を示しています。概して、3か国すべての人口の大部分は中年層であることが示されている一方で、若年層と高齢者の年齢層の割合は国によって大きく異なります。

労働人口が3か国全人口の大部分を占めていることは、見るからに明らかです。この年齢層のシンガポールの数字は人口の4分の3であり、日本とケニアよりも大幅に高く、2国はそれぞれ60%と58%です。

逆に、高齢者層の割合は全体的に見ても明らかに最も低く、ケニアのこの層の割合は人口のわずか2%であり、シンガポールが13%と続いている。しかし、日本の数値は、高齢者層が人口の4分の1以上を占める28%とまったく対照的です。

最後に注目すべき点は、0歳から14歳までの若者の人口にかなりのばらつきが見られることです。この年齢層のケニアの割合は40%で、これは12%を示しているシンガポールと日本の3倍です。

必勝攻略レクチャー

このタイプは非常に出題頻度の高い「年齢層」に関するグラフです。まず「すべての国で15-64歳の労働人口の割合が過半数を超えていること」は共通かつ、最も目立つ特徴なのでこの描写は必須です。次に0-14歳の層はシンガポール、日本は同じですが、ケニアは割合がその3倍なのでこれも書く必要があります。最後に65歳以上に関しては、日本が圧倒的に多く、そしてケニアが極めて低い数値となっています。ここも比較や倍数表現を上手く使いながら描写することが必要です。ではモデルエッセイを分析し、スコアUPにつながるポイントを見ていきましょう。

スコアUPポイントをチェック！

① わかりやすいパラグラフ構成

▶ パラグラフで年齢層ごとに情報が明確に整理されています。同時に、話の展開をスムーズにするcohesive devicesの運用も適切です。

② 比較級、最上級、倍数表現の適切な運用

▶ 各パラグラフにおけるスコアUPにつながる表現は次のとおりです。

- ・2パラグラフ：the largest part / three quarters / substantially higher
- ・3パラグラフ：the smallest / a quarter
- ・4パラグラフ：triple the amount

③ 「年齢層」と「～を占める」を表す重要語彙の正確な運用

▶ 「年齢層」：age group [category / range]

「～を占める」：account for / constitute

④ 付帯状況のwithの用法の運用

▶ , with Kenya's fraction of this age group shown to be [3パラグラフ]

⑤ 関係代名詞の非制限用法（～, which is ...）の運用

▶ , which is substantially ~ [2パラグラフ]

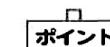
, which is triple the amount [4パラグラフ]

⑥ それぞれの「年齢層」を言い換えたバラエティ

▶ 15-64歳：the working population [2パラグラフ]

65歳以上：senior citizens [3パラグラフ]

0-14歳：the youth population [4パラグラフ]



カテゴリーごとに分析し、
「相違点」と「共通点」の観点で考えること !!

では、サンプルエッセイを見て、どのように改善すべきか考えてみましょう。

サンプルエッセイを分析

The pie charts ① show proportions of age categories of three countries in 2019. ② Overall, Singapore had the highest percentage of people who are 15 to 64 years old, and it accounts for 75%. Also, other groups are much lower at 12% and 13%.

It is clear that people who are aged 15-64 are 75% in Singapore, 60% in Japan and 58% in Kenya. ③ In addition, in Kenya, the 0-14 age group comprises more than a third whereas the 65 and above age group takes only 2% of the total share. In Japan, ④ the 0-14 age range accounts for 12% while the 65 and above range makes up 28%. In Singapore, similar percentages can be seen in both groups, at 12% and at 13%.

Finally, Japan is ageing compared to Singapore and Kenya because there are higher proportion of older people. ⑤ This is probably because there are more older people in Japan, which is a serious problem. (155words)

【評価】 TA (タスクの達成度) / CC (論理性と結束性) / LR (語法) / GR (文法)

*TA=Task Achievement

CC=Coherence and Cohesion

LR=Lexical Resource

GR=Grammatical Range and Accuracy

TA	CC	LR	GR	Overall
5.0	5.0	6.0	6.0	5.5
総評	字数も満たしており、overview も書かれており、語彙や文法のミスも比較的少なく感じますが、特に TA と CC の改善点が多く見受けられます。			

改善点・コメント

- ① 設問文とまったく同じ表現が使われているため、トータルの字数に含まれません。丸写しはせず、キーワード以外はパラフレーズする必要があります。
- ② Singapore の描写しか書かれておらず、限定的になっています。また、イント

ロダクションで細かい数値が描写されている点も改善が必要です。overview は必ず「**全体像をとらえ、詳細な数値は含めない**」という観点から書くようにしてください。

- ③ In addition の後ろは、前文の内容に関連した追加事項が来るべきですが、直前では「15-64 歳人口」、In addition 以下は「日本における 0-14 歳人口と高齢者人口の対比」なので追加ではありません。これは cohesion のスコアに影響します。
- ④ while を使って対比していますが表現不足です。ここは倍数表現と代名詞を用いて、while the 65 and above range makes up **more than twice that figure [number]** のように書けば文法の運用幅が UP します。
- ⑤ 主観的な要素を入れてしまっている例で、TA のスコアが悪くなります。Task 1 はあくまで情報を分析して描写するだけで、理由や考察を入れてはいけません。